

2024年5月28日

株主各位

ISS 社レポートに対する当社の見解について

平素は格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、当社は、本年6月25日開催予定の第133期定時株主総会（以下「本総会」）の招集ご通知をさる5月24日に次のURLにて公表しておりますが、議決権行使助言会社である Institutional Shareholder Services Inc.（以下「ISS 社」）が、一部取締役候補者について反対推奨する旨のレポートを発行している事実を確認いたしました。

つきましては、下記のとおり、ISS 社の反対推奨に対する当社の見解を記させていただきます。株主の皆さまにおかれましては、当社定時株主総会招集ご通知ならびに本内容を今一度ご一読頂き、改めて当該議案へのご理解を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

<株主総会招集ご通知の掲載 URL>

（和文）

<https://www.asahi-kasei.com/jp/shoushu/133.html>

（英文）

https://www.asahi-kasei.com/ir/stock_information/meeting/

記

1. ISS 社のレポートの内容

ISS 社は、当社グループの業績が「過去5期平均の自己資本利益率（ROE）が5%を下回り、かつ、改善傾向（直近の会計年度のROEが5%以上ある場合）にない」（以下、「ISS 業績基準」）とする同社議決権行使助言基準に形式的に該当するとして、取締役会長 小堀秀毅および代表取締役社長 工藤幸四郎の2氏の選任議案について反対推奨を行っています。

2. 当社の見解

当社グループの業績が、先述の ISS 業績基準に形式的に該当することは事実であります。しかし、ISS 社が選任に反対推奨している工藤氏は、社長執行役員として、「中期経営計画 2024 ~Be a Trailblazer~」に基づき、低収益・低投資効率の事業の収益改善・構造転換に加え、成長牽引事業への投資を通じた事業ポートフォリオ変革に尽力しております。また、これを適切に取締役会が監督するにあたって、小堀氏は取締役会議長としてその実効的な監督をリードしており、両氏ともに今後の当社グループの成長と持続的な企業価値の向上に欠くことのできない存在です。業

績は着実に改善傾向にあり、ISS 業績基準の形式的な当てはめに従い、議決権行使をしていただくことは適切ではありません。

近年の ROE の低迷は、中国市場を中心とする石油化学チェーン関連事業の想定以上の需要減速や市況下落の他、過去に行った買収案件による減損に大きく起因します。2022 年度には、営業利益は 1,277 億円を計上した一方、リチウムイオン電池（以下、LIB）用乾式セパレータ事業の環境変化を背景に同事業の子会社である Polypore 社の減損損失を計上しました。その結果、親会社に帰属する当期純損失は▲913 億円となり、ROE は▲5.5%に落ち込みました。セパレータ事業については、事業戦略の見直しにより、電気自動車用途で大きな成長が見込める LIB 用湿式セパレータ「ハイポア」事業に経営資源を集中させています。

また、2023 年度は、「住宅」が堅調に成長した他、「ヘルスケア」もクリティカルケア事業の牽引により業績改善などから全セグメントで営業利益が改善し、1,407 億円を計上しました。一方、石油化学チェーン関連事業の厳しい事業環境が継続すること等を背景に、関連事業等の持分法投資損失や減損損失を計上しました。その結果、親会社に帰属する当期純利益は 438 億円となり、ROE は 2.5%となりました。これらの持分法投資損失や減損損失の計上を踏まえて、石油化学チェーン関連事業の収益改善・構造転換の検討を加速させています。

そして、2024 年度は、自動車、電子機器、半導体市場などの緩やかな回復を背景とした「マテリアル」領域の業績改善、「住宅」「ヘルスケア」領域の堅調な成長を見込み、営業利益は 1,800 億円、当期純利益は 1,000 億円、ROE は 5.5%に伸長する見通しです。

2024 年 5 月 20 日に開催した経営説明会では、さらなる ROE の改善に向けて「事業ポートフォリオ変革加速」と「収益力向上」を特に注力して取り組む旨を説明させていただきました。事業ポートフォリオ変革については、売上高 1,000 億円以上の事業について、現中計期間中の効果創出を狙った構造転換を進めるほか、売上高約 6,000 億円の石油化学チェーン関連事業の構造転換については、24 年度中のパートナーとの方向性の合意または意思決定を目指すべく検討を加速しています。一方、成長牽引事業の投資については、本年 4 月に電気自動車の普及や社会のカーボンニュートラルに寄与する、LIB 用湿式セパレータ「ハイポア」のカナダ工場の建設を決定するなど、挑戦を通じた成長と安定的な利益創出による、「持続可能な社会」への貢献と持続的な企業価値の向上を目指してまいります。

株主各位におかれましては、議決権ご行使にあたって、以上の当社グループの取組みをご参考としていただければ幸甚です。ご検討方どうぞ宜しくお願いいたします。

<2024 年 5 月 20 日経営説明会資料>

（和文）

<https://www.asahi-kasei.com/jp/ir/library/initiative/>

（英文）

<https://www.asahi-kasei.com/ir/library/initiative/>

お問合せ先： 旭化成(株) 総務部 (Email kabushiki@om.asahi-kasei.co.jp)

以上

旭化成株式会社

代表取締役 専務執行役員

堀江 俊彦